

兵庫県立神崎工業高等学校 平成30年度 学校評価 (教職員自己評価)

評価基準 ◎ (よくできた) 5 / ○ (できた) 4 / △ (あまりできなかった) 2 / × (できなかった) 1

《 ランク A 5.00 ~ 4.00 / B 3.99 ~ 3.00 / C 2.99 ~ 2.50 / D 2.49 ~ 2.00 / E 1.99 ~ 1.00 》

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク																	
					◎	○	△	×	無回																			
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	「学級通信」・「学校だより」を発行するとともに「ホームページ」を通じて、保護者に可能な限り情報を公開する。	26	17	17	1	0	0	4.4	A																	
				27	9	17	9	0	0	3.7	B																	
				28	11	14	7	2	0	3.7	B																	
	29			11	14	7	2	0	3.7	B																		
	30			13	20	3	1	0	4.1	A																		
	開かれた学校づくり	学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	学校評議員会を年3回開催し、評議員から意見を聴取し、授業や行事等の改善に役立てる。	26	4	18	13	0	0	3.4	B																	
				27	10	22	3	0	0	4.1	A																	
				28	11	21	3	0	0	4.1	A																	
				29	9	20	5	0	0	4.0	B																	
				30	16	19	1	1	0	4.3	A																	
	開かれた学校づくり	学校施設や教育資源の地域への開放	社会人教育として「特別専修コース」を開設し、地域住民が学ぶ環境をつくる。	26	18	15	1	1	0	4.4	A																	
				27	19	12	3	0	0	4.4	A																	
				28	21	13	1	0	0	4.5	A																	
				29	11	19	4	0	0	4.1	A																	
				30	19	15	2	1	0	4.3	A																	
学 校 運 営	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	年度当初に生徒指導方針を生徒・職員に明確に説明し、定期的はその方針の達成状況を確認する。	26	4	18	10	3	0	3.3	B																	
				27	10	21	4	0	0	4.1	A																	
				28	15	14	3	3	0	4.0	A																	
				29	15	16	2	1	0	4.2	A																	
				30	10	25	2	0	0	4.2	A																	
		生徒指導	生徒の内面理解を図る指導の工夫	各学期に個人面談を実施すると共に、家庭とも密接な連絡をとる。	26	13	16	6	0	0	4.0	A																
	27				13	20	2	0	0	4.3	A																	
	28				17	16	2	0	0	4.4	A																	
	29				16	16	2	0	0	4.4	A																	
	30				8	20	7	2	0	3.7	B																	
	生徒指導	生徒の自主自律の精神を育む指導の工夫	生徒会行事の活性を図り、生徒の自律意識を高める。	26	3	21	10	1	0	3.4	B																	
				27	7	22	6	0	0	3.9	B																	
				28	14	17	4	0	0	4.2	A																	
				29	10	21	3	0	0	4.1	A																	
				30	15	16	6	0	0	4.1	A																	
学 校 運 営	いじめ行為の未然防止、早期発見への取り組み	「生活アンケート(いじめ行為含)」を毎学期実施するなど、いじめ行為の未然防止、早期発見に努めている。	26	/																								
			27							/																		
			28													/												
			29																			24	10	0	0	0	4.7	A
			30																			21	14	1	1	0	4.4	A
学 校 運 営	進路指導	進路指導体制の充実	進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導する。	26	9	23	2	1	0													4.1	A					
				27	13	18	4	0	0	4.1	A																	
	28			17	12	4	2	0	4.1	A																		
	29			14	13	6	1	0	4.0	B																		
	30			9	22	5	1	0	3.9	B																		
	進路指導	職業観・勤労観の育成と進路意識の育成	外部講師による進路講演会を各学年で年1回開催し、生徒の職業観を高める。	26	15	13	6	1	0	4.0	A																	
				27	22	12	1	0	0	4.6	A																	
				28	19	14	2	0	0	4.4	A																	
				29	16	15	3	0	0	4.3	A																	
				30	18	18	1	0	0	4.4	A																	
	学 校 運 営	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	いつでも公開授業ができる体制を整える。各学期に1回以上研究授業を行う。	26	10	17	7	1	0	3.8	B																
					27	10	17	7	1	0	3.8	B																
					28	8	15	11	1	0	3.5	B																
					29	8	20	6	0	0	3.9	B																
					30	17	14	5	1	0	4.1	A																
教職員の資質向上		計画性をもった研修の実施	進路・教務・保健・生徒指導等の諸課題に関する研修を計画的に立案する。	26	6	21	7	1	0	3.7	B																	
				27	8	17	8	2	0	3.6	B																	
				28	12	14	8	0	0	3.9	B																	
				29	9	19	5	1	0	3.9	B																	
				30	9	22	5	1	0	3.9	B																	

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク
					◎	○	△	×	無回		
学校運営	危機管理体制の整備	生徒に対する安全教育の充実	学校マニュアルに基づいて、不審者の侵入などの危機的事態への注意を喚起し、連絡の徹底を図る。	26	3	20	9	3	0	3.3	B
				27	3	13	19	0	0	3.0	B
				28	5	13	12	5	0	3.0	B
				29	3	13	14	4	0	2.9	C
				30	6	17	12	2	0	3.4	B
	教員の実践的な研修・訓練	緊急事態への対応や、生徒の心のケアについての研修を定期的に行う。	26	2	20	10	3	0	3.2	B	
			27	8	22	5	0	0	3.9	B	
			28	8	17	8	1	0	3.7	B	
			29	9	18	6	1	0	3.8	B	
			30	8	20	8	1	0	3.7	B	
	学校運営全般	学年・学級経営	学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的経営方針を立て、その実施に努力する。	26	4	24	6	1	0	3.7	B
				27	9	19	7	0	0	3.9	B
				28	13	17	3	2	0	4.0	A
				29	14	13	4	3	0	3.9	B
				30	8	21	7	1	0	3.8	B
		校務分掌	年度当初に、それぞれの分掌における重点目標を設定し、適宜取り組みについて評価・見直しをおこなう。	26	8	17	9	1	0	3.6	B
				27	5	22	7	1	0	3.7	B
				28	7	22	5	1	0	3.8	B
				29	12	11	9	2	0	3.6	B
				30	11	16	8	2	0	3.7	B
PTA活動	PTAとの連携	授業参観や、人権教育研修・保健講話などにおける研修会への参加により、学校を開き、生徒理解を深める。	26	7	23	5	0	0	3.9	B	
			27	9	20	5	1	0	3.9	B	
			28	7	24	4	0	0	4.0	B	
			29	6	21	4	3	0	3.7	B	
			30	11	19	5	2	0	3.9	B	
教育課程	自らから学び考える力の育成	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	26	2	20	13	0	0	3.3	B
				27	5	12	16	2	0	3.1	B
				28	9	16	8	2	0	3.6	B
				29	6	18	8	2	0	3.5	B
				30	10	14	12	1	0	3.5	B
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	基礎学力テストを年5回以上実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫する。	26	13	18	3	1	0	4.1	A
				27	18	16	1	0	0	4.5	A
				28	17	12	5	1	0	4.1	A
				29	11	15	6	2	0	3.8	B
				30	11	23	3	0	0	4.1	A
		学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	26	3	14	15	3	0	3.0	B
				27	6	13	13	3	0	3.2	B
				28	9	12	10	4	0	3.3	B
				29	6	14	12	2	0	3.3	B
				30	4	19	10	4	0	3.2	B
	個に応じた指導の徹底	評価方法の創意工夫	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	26	1	13	18	3	0	2.7	C
				27	5	18	12	0	0	3.5	B
				28	5	20	8	2	0	3.5	B
				29	7	15	9	3	0	3.4	B
				30	8	20	7	1	1	3.8	B
指導形態の工夫		生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	26	5	19	9	2	0	3.5	B	
			27	10	21	4	0	0	4.1	A	
			28	14	16	4	1	0	4.1	A	
			29	12	18	2	2	0	4.1	A	
			30	11	23	3	0	0	4.1	A	
特別活動(学校行事等)	自主的・実践的な活動の活性化	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	26	4	23	8	0	0	3.7	B	
			27	9	21	4	1	0	3.9	B	
			28	13	18	4	0	0	4.1	A	
			29	9	22	3	0	0	4.1	A	
			30	15	18	4	0	0	4.2	A	
	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	26	2	15	16	2	0	3.0	B	
			27	15	15	4	0	0	4.2	A	
			28	8	18	8	1	0	3.7	B	
			29	6	17	7	4	0	3.4	B	
			30	19	13	4	1	0	4.2	A	
	ボランティア活動	各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	26	2	13	15	5	0	2.8	C	
			27	3	12	16	4	0	2.8	C	
			28	6	15	8	6	0	3.2	B	
			29	5	12	10	7	0	2.9	C	
			30	6	17	8	6	0	3.2	B	

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク		
					◎	○	△	×	無回				
教育課程	芸術文化活動	文化的行事	文化祭（神工祭）で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	26	7	17	9	1	1	3.6	B		
				27	9	19	5	2	0	3.8	B		
				28	13	17	4	1	0	4.1	A		
				29	12	15	6	1	0	3.9	B		
				30	16	19	2	0	0	4.3	A		
	各科の個性化	(機械科) 機械技術の基礎基本の定着			26	9	18	7	0	0	3.9	B	
					27	5	18	5	0	7	3.8	B	
					28	11	0	1	0	0	4.8	A	
					29	6	6	0	0	0	4.5	A	
					30	19	13	4	0	1	4.3	A	
			物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる。			26	6	21	7	0	0	3.8	B
						27	6	16	5	1	7	3.8	B
						28	7	5	0	0	0	4.6	A
						29	5	7	0	0	0	4.4	A
						30	15	17	4	0	1	4.2	A
			総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成する。			26	3	21	9	1	1	3.5	B
						27	3	18	6	1	7	3.6	B
						28	7	5	0	0	0	4.6	A
						29	4	7	1	0	0	4.2	A
						30	9	23	4	0	1	4.0	A
(電気科) 工業の情報化・高度化に対応した情報技術の充実	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。			26	6	21	6	1	1	3.7	B		
				27	5	14	5	1	10	3.7	B		
				28	3	2	1	0	0	4.2	A		
				29	2	5	0	0	0	4.3	A		
				30	16	13	1	0	7	4.5	A		
	工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。				26	6	24	4	0	0	3.9	B	
					27	5	13	6	1	10	3.6	B	
					28	1	5	0	0	0	4.2	A	
					29	1	5	1	0	0	3.9	B	
					30	7	19	4	0	7	4.0	B	
意欲的に課題解決を行うように工夫をし、達成後、さらに次のステップへの意欲を持たせる。（第2種電気工事士受験等）				26	4	24	6	0	0	3.8	B		
				27	4	15	5	1	10	3.6	B		
				28	2	3	0	1	0	3.8	B		
				29	4	2	1	0	0	4.3	A		
				30	10	18	2	0	7	4.2	A		
課題教育	防災・安全教育	教員の防災教育に係わる指導力・実践力の向上	「生徒の命を守る」という教職員の意識と技術を高める。防災訓練を年2回行う。	26	10	16	9	0	0	3.8	B		
				27	13	17	5	0	0	4.1	A		
				28	15	16	3	0	0	4.3	A		
				29	14	19	1	0	0	4.4	A		
				30	24	12	1	0	0	4.6	A		
	人権教育	確かな人権意識の育成		人権教育HRや生活体験発表会において、生徒の身近な問題から相互に尊重し合う態度を育てる。	26	4	21	10	0	0	3.5	B	
					27	7	23	4	1	0	3.9	B	
					28	9	18	6	2	0	3.7	B	
					29	9	18	7	0	0	3.9	B	
					30	12	20	4	1	0	4.0	A	
	情報教育	情報モラルの育成		情報発信に伴う責任など、情報モラルを育成する。また、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせる。	26	3	12	19	1	0	2.9	C	
					27	6	20	8	1	0	3.6	B	
					28	6	13	13	3	0	3.2	B	
					29	8	19	6	1	0	3.8	B	
					30	11	12	12	2	0	3.5	B	
環境教育・福祉教育	環境・福祉体験活動等の推進		生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てる。	26	3	11	16	5	0	2.7	C		
				27	5	14	13	3	0	3.1	B		
				28	5	14	13	3	0	3.1	B		
				29	4	19	9	2	0	3.4	B		
				30	6	15	13	3	0	3.2	B		
交通安全教育	実践的な安全教育への取り組み		登下校・自転車指導を年2回以上実施し、自他の生命を尊重する意識を高める。	26	3	23	9	0	0	3.6	B		
				27	14	20	1	0	0	4.3	A		
				28	17	16	2	0	0	4.4	A		
				29	10	17	7	0	0	3.9	B		
				30	21	12	4	0	0	4.4	A		